| 学校番号 | 3010 |
|---|---|

令和8年度　　美術　　科

| 教科 | 美術 | 科目 | 造形表現Ａ | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 3 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 自主編成教材 | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

| |
|---|
| 幅広いデッサン制作を通じて基礎な造形力を身に付けていきます。年間を通して基本的な幾何形体を繰り返し描くことで、デッサン力を高めます。また小ワークを用いて、造形要素について理論的な理解も深めていきます。これらの学習を基に、将来に活きる確かな観察力や表現力、美的に思考する力、目標達成に向かう計画力の向上を目指していきます。 |

2　学習の到達目標

| |
|---|
| 【知識及び技能】 |
| 造形や現象の成り立ちを理論的に捉えることができる。また描画材の特性を理解し適切に操ることができる。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 |
| 課題内容を正確に理解し、意図に応じて創意工夫して的確な表現をすることができる。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 |
| 目標に合わせて必要な技術や考え方、課題解決能力を主体的に身に付けることができる。<br>また見通しを立てて計画的に制作に取り組むことができる。 |

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a：知識・技能 | b：思考・判断・表現 | c：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・対象を造形的に捉える視点を持ち、理解を深めようとしている。<br><br>・表現方法を創意工夫する中で、必要な技術や制作手順を身に付けることができる。<br><br>・目標とする表現に合わせて、適切な画材や技法を選択している。 | ・課題の主旨を的確に理解できる。<br><br>・意図を持って主題を生成し、制作に取り組もうとしている。<br><br>・造形的な良さを意識しながら制作を進めることが出来ている。 | ・自ら目標を設定し、創意工夫して課題制作に積極的に取り組もうとしている。<br><br>・他者の表現も参考にしながら課題の解決に取り組もうとしている。<br><br>・設定した目標に向かって、計画的に制作することが出来る。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | デッサン導入編 | 【グレースケール制作】<br>指定されて硬さの鉛筆を使って、黒の濃淡のみでグレースケールを制作する。 | a：描画材料は適切に扱えているか。<br>ｂ：出題された課題の意図を理解し、鉛筆の濃淡によるグラデーションが的確に表現されているか。また鉛筆での表現を創意工夫しているか。<br>ｃ：課題内容に興味を持ち、計画的かつ前向きに取り組もうとしているか。 | 画材の使用状況の観察<br><br>造形要素についての理解度 | 制作プロセスの観察<br><br>表現方法の工夫<br>度合いと創造性の<br>度合い | 学習活動の様子<br><br>作品の提出状況 |
| | 基礎デッサン | 【幾何形体のデッサン】<br>円柱や立方体、球などの基本的な幾何形体のデッサン制作を行う。<br><br>【講評会】<br>自身の作品と他者の作品を客観的に鑑賞することで、各自の課題の解決方法について考える。 | a：対象の持つ形や色、質感の成り立ちを正確に理解して描くことができているか。また描画材料は適切に扱えているか。<br>ｂ：出題された課題内容を理解し、意図をもって構図構成することができているか。<br>ｃ：課題内容に興味を持ち、目標に向かって計画的かつ前向きに取り組もうとしているか。 | 画材の使用状況の観察<br><br>造形要素についての理解度 | 制作プロセスの観察<br><br>表現方法の工夫<br>度合いと創造性の<br>度合い | 学習活動の様子<br><br>講評会の参加の様子<br><br>作品の提出状況 |
| 2学期 | 応用デッサン | 【応用デッサン】<br>円柱や立方体、球などの基本的な幾何形体を応用したモチーフを組み合わせてデッサン制作を行う。<br><br>【講評会】<br>自身の作品と他者の作品を客観的に鑑賞することで、各自の課題の解決方法について考える。 | a：対象の持つ形や色、質感の成り立ちを正確に理解して描くことができているか。また描画材料は適切に扱えているか。<br>ｂ：出題された課題内容を理解し、意図をもって創意工夫しながら構図構成することができているか。<br>ｃ：課題内容に興味を持ち、目標に向かって計画的かつ前向きに取り組もうとしているか。 | 画材の使用状況の観察<br><br>造形要素についての理解度 | 制作プロセスの観察<br><br>表現方法の工夫<br>度合いと創造性の<br>度合い | 学習活動の様子<br><br>講評会の参加の様子<br><br>作品の提出状況 |
| 3学期 | 細密デッサン | 【細密デッサン】<br>サザエの貝殻を時間をかけて細密に描く。 | a：対象の持つ形や色、質感の成り立ちを正確に理解して描くことができているか。また描画材料は適切に扱えているか。<br>ｂ：出題された課題内容を理解し、意図をもって創意工夫しながら構図構成することができているか。<br>ｃ：課題内容に興味を持ち、目標に向かって計画的かつ前向きに取り組もうとしているか。 | 画材の使用状況の観察<br><br>造形要素についての理解度 | 制作プロセスの観察<br><br>表現方法の工夫<br>度合いと創造性の<br>度合い | 学習活動の様子<br><br>作品の提出状況 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度